

取扱説明書

保管用
施工説明付き

(パワーボックス)

※対象品番は仕様欄をご参照ください。

お客様へ

このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
本説明書は大切に保管してください。



●安全上のご注意



必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。





■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下図は図記号の一例です。)



	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	実行しなければならない内容です。
	してはいけない内容です。

警告

	厳守	●異常を感じた場合、速やかに電源を切る 火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。		禁止	●器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わない 火災・感電・落下の原因となります。
	禁止	●周囲温度0～35℃以外では使用しない 火災の原因となります。		分解禁止	●器具の改造、部品の変更は行わない 火災・感電・落下等の原因となります。

注意

	厳守	●器具には寿命があります。 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。 ※目安として、使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間使用。 周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合は、寿命が短くなります。		厳守	●お手入れの際は電源を切る 通電状態で行うと感電の原因となります。
		●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。			●器具の取外しは工事店、販売店に依頼する 器具の取外しには資格が必要です。

施工説明

工事店様へ

施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

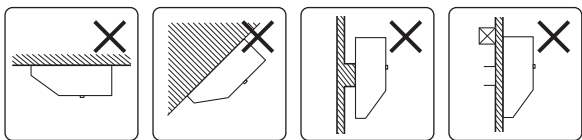
●安全上のご注意

必ずお守りください。

⚠警告

●取付面

- 指定場所以外には取付けない
火災・落下の原因となります。
- ※この器具は壁面取付専用です。



天井 傾斜壁面 不安定な場所 補強のない壁面



厳守

- 取付面の強度を確保する
取付面が強度不足の場合、落下の原因となります。
- 付属の木ネジで確実に取付ける
取付部、補強材へのねじ込み寸法が20mm以下の場合、落下の原因となります。
既に使用されたネジ穴の再利用はしないでください。
落下の原因となります。



水ぬれ禁止

- 湿気が多い場所や屋外では使用しない
火災・感電の原因となります。
- ※この器具は非防水です。



禁止

- ガス機器等の温度の高くなるものの近くに取付けない
火災の原因となります。

●壁スイッチ



厳守

- 当社製適合コントローラーを使用する
指定以外のコントローラーと組み合わせて使用すると、火災・故障の原因となります。
- ※コントローラーの注意事項については、コントローラーの説明書をご確認ください。

●その他

- 取付けは器具本体表示または本説明書に従って確実に
行う
取付けに不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
 - 電源は必ず20A以下のブレーカーを使用し、単相
100Vで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災・感電の原因となります。
 - 最大負荷容量以下で使用する
最大負荷容量を超えて使用した場合、火災・異常発熱
の原因となります。
 - 器具表示の指定方向に取付ける
指定方向以外に取付けた場合、火災・落下の原因とな
ります。
 - 電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となりま
す。
 - LANケーブルは最後まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災・操作不良の原因とな
ります。
 - 取付けの際、電源線を器具ではさまない
取付けに不備があると、火災・感電の原因となります。
 - 本体の基盤に触れない
感電・故障の原因となります。
 - 当社製適合照明器具を使用する
指定以外の照明器具と組み合わせて使用すると、火
災・故障の原因となります。
- ※照明器具の注意事項については、照明器具の説明書
をご確認ください。



厳守

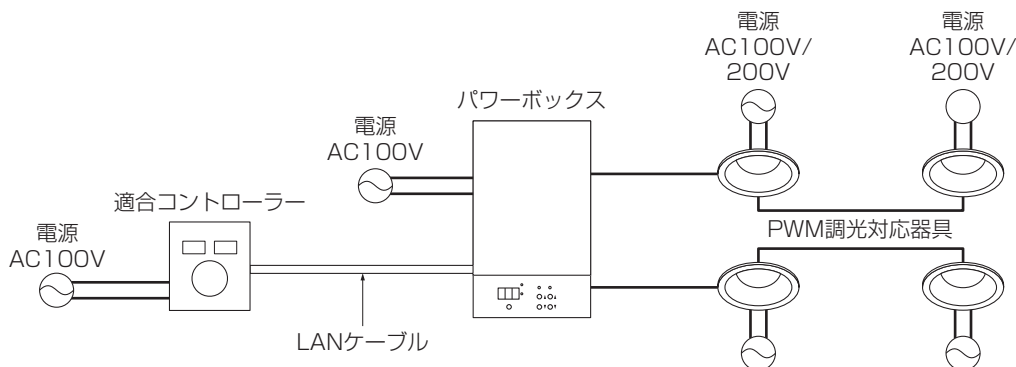
⚠注意



禁止

- 取付面が充分乾燥してから器具を取付ける
乾燥が不十分な場合、器具のメッキ部や塗装部が侵
されたり、絶縁不良の原因となります。

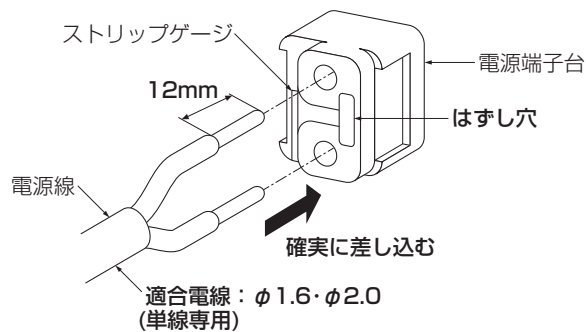
●システム図



② 電源線を接続する

- 電源線を電源端子台に適切、確実に差し込む。

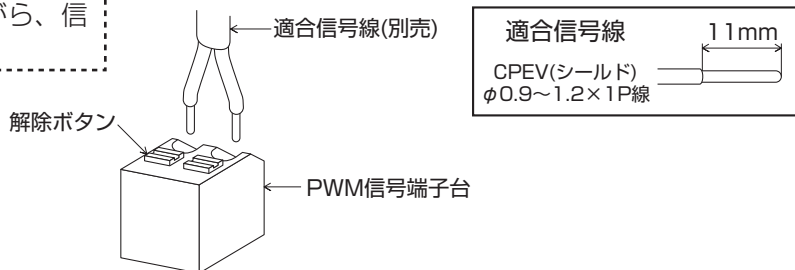
電源線を取外す場合は、マイナスドライバー等はずし穴に差し込み、電源線を引き抜く。



③ 信号線を接続する

- 信号線をPWM信号端子台に適切、確実に差し込む。

信号線を取外す場合は、解除ボタンを押しながら、信号線を引き抜く。



④ LANケーブルを接続して終端抵抗を設定する

- LANケーブルをコネクタに確実に差し込む。

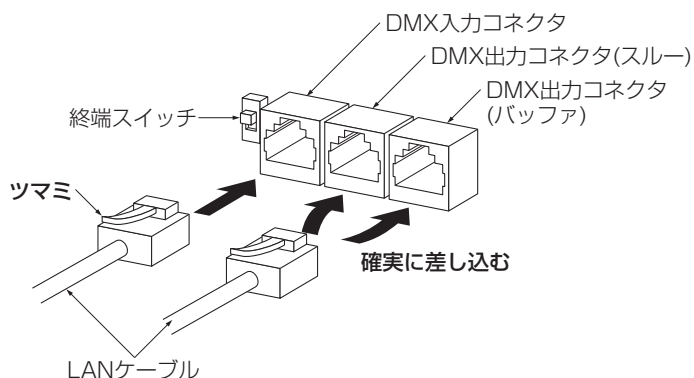
※LANケーブルを誤配線しないでください。

※LANケーブルはスイッチングハブ等で分岐させないでください。故障の原因となります。

LANケーブルを取外す場合は、ツマミを押しながら、LANケーブルを引き抜く。

※本器取付け後、再度LANケーブルを着脱する場合は、必ず電源を切ってから行ってください。

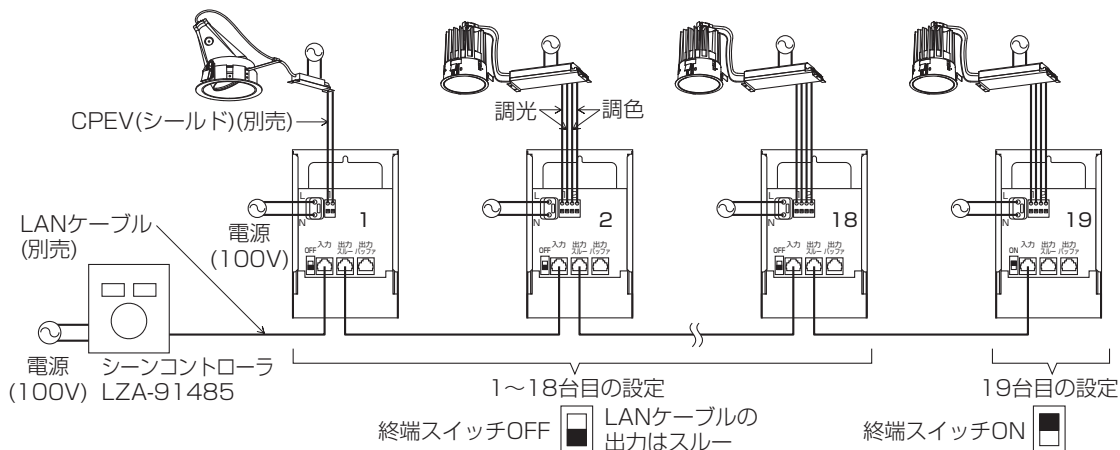
- 下図を参考に終端スイッチを切り替え、終端抵抗を設定する。〔初期設定：ON〕



<パワーボックスの接続が19台以下の場合(例：19台接続)>

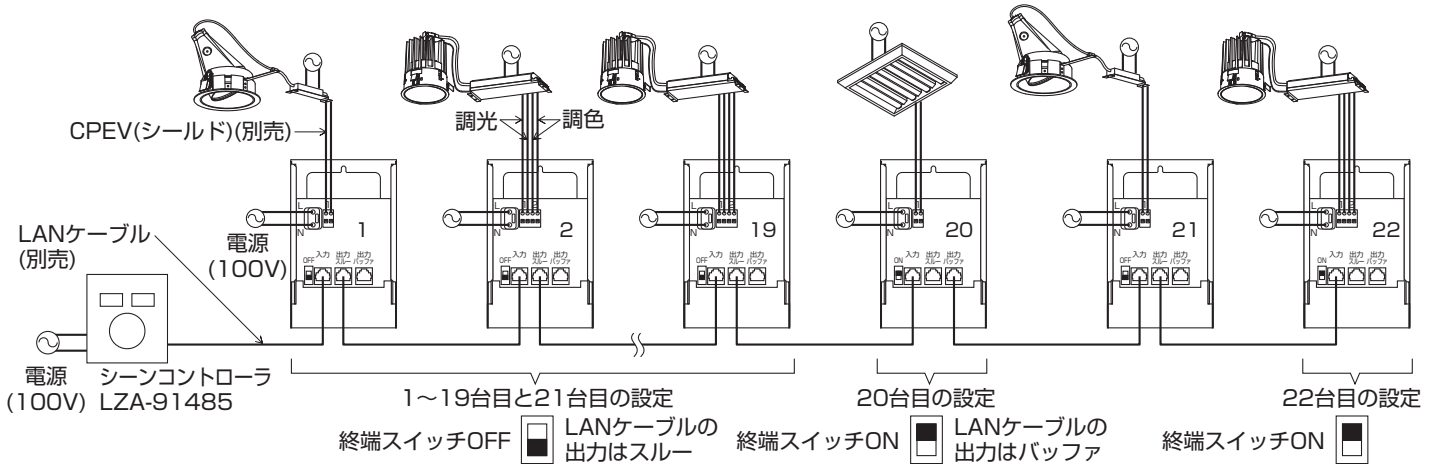
- 送り用LANケーブルをDMX出力コネクタ(スルー)に確実に差し込み、接続するパワーボックスのDMX入力コネクタに確実に差し込む。

- 末端以外のパワーボックスの終端スイッチをOFFに切り替える。



<パワーボックスの接続が20台以上の場合(例：22台接続)>

- 1～19台目と21台目の送り用LANケーブルをDMX出力コネクタ(スルー)に確実に差し込み、接続するパワーボックスのDMX入力コネクタに確実に差し込む。
- 20台目ごとに送り用LANケーブルをDMX出力コネクタ(バッファ)に確実に差し込み、接続するパワーボックスのDMX入力コネクタに確実に差し込む。
- 1～19台目と21台目のパワーボックスの終端スイッチをOFFに切り替える。

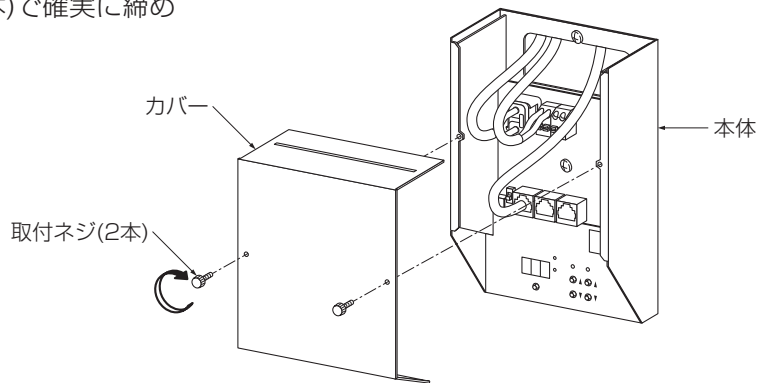


<LANケーブルの総延長が200mを超える場合>

- 200mを超えた最初のパワーボックスの送り用LANケーブルをDMX出力コネクタ(バッファ)に確実に差し込み、接続するパワーボックスのDMX入力コネクタに確実に差し込む。
- ※総延長が400mを超える場合は、200mを超えるごとに行ってください。

⑤ カバーを取付ける

- カバーを本体にセットし、取付ネジ(2本)で確実に締め付け固定する。



●配線確認方法

- チャンネル・モード設定の前に配線の確認(パワーボックスでの強制点灯)ができます。

※調光の確認はできません。強制点灯と消灯のみです。

- パワーボックスの電源を切ってください。
- 取付ネジ(2本)を取外して本体からカバーを取外し、DMX入力コネクタからLANケーブルを取外してから行ってください。

- ①パワーボックスの電源を入れてください。
- ②「DMX-IN LED」が消灯していることを確認してください。
- ③点灯確認する回路の「UPスイッチ」を押してください。

照明器具、「回路LED」が強制点灯します。

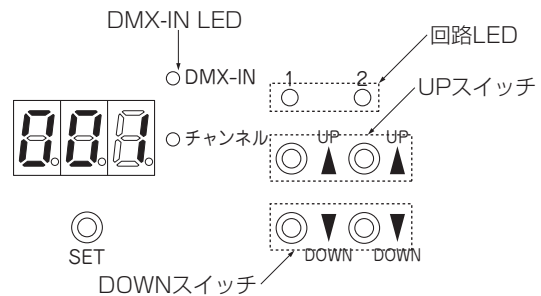
- ④点灯確認した回路の「DOWNスイッチ」を押してください。

照明器具、「回路LED」が消灯します。

- ⑤パワーボックスの電源を切ってください。

- 確認後、LANケーブルをDMX入力コネクタに確実に差し込み、カバーを本体にセットして取付ネジ(2本)で確実に締め付け固定してください。

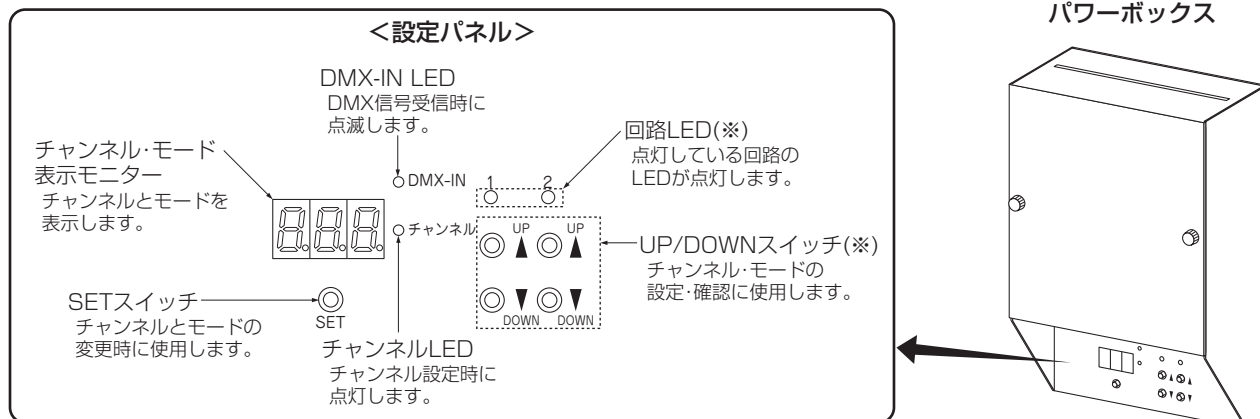
- パワーボックスの電源を入れ、「DMX-IN LED」が点滅していることを確認してください。



●チャンネル・モード設定について

各部の名称とはたらき

※下図は、簡略した図です。



(※)の部品数はタイプにより異なります。〔1回路用:各1個 2回路用:各2個〕

チャンネル・モード設定方法

- 回路ごとにチャンネルとモードを設定することができます。
- モードは、調光出力モードと直出力モード1・2を設定することができます。

1) チャンネルを設定する

DMX-IN LEDが点滅しています。
「チャンネル・モード表示モニター」は回路1の現在のチャンネルが表示されています。

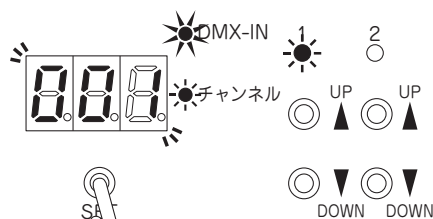
- ※DMXコントローラーと本器がLANケーブルで接続されていない場合(DMX信号を受信していない)は、「DMX-IN LED」は点滅しません。
- ※コントローラーで照明器具を点灯させている場合は、点灯している回路の回路LEDが点灯しています。

①「SETスイッチ」を押してください。



チャンネル設定に切り替わります。

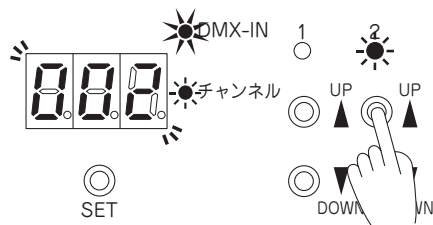
「チャンネルLED」が点灯します。



②設定したい回路の「UP/DOWNスイッチ」でチャンネルを設定してください。

「チャンネル・モード表示モニター」に選択した回路のチャンネルが表示されます。

※チャンネルは1～512まで設定できます。コントローラーで使用したいチャンネルに設定してください。



チャンネルを設定

<シーンコントローラ(LZA-91485・LZA-92772)を合わせて使用する場合>

※チャンネルは1～40までで使用してください。チャンネルを41以上に設定すると正常に動作しません。

<手動フェーダー(LZA-92773・LZA-92774・LZA-92775)を合わせて使用する場合>

※手動フェーダーのチャンネル数までで使用してください。手動フェーダーのチャンネル数以上に設定すると正常に動作しません。

② モードを設定する

①「SETスイッチ」を押してください。



モード設定に切り替わります。

「チャンネル・モード表示モニター」に回路1の出力モードが表示されます。

②設定したい回路の「UP/DOWNスイッチ」で出力モードを設定してください。

「チャンネル・モード表示モニター」に選択した回路の出力モードが表示されます。

「d」 調光出力モード(0~100%で調光)

※DMX入力0~255を調光出力します。

※調色調光器具を接続する場合は「d」に設定してください。

「J」 直出力モード1(0~99%は消灯、100%で点灯)

※DMX入力0~254でOFF、255でONになります。

「L」 直出力モード2(0は消灯、1~100%で点灯)

※DMX入力0でOFF、1~255でONになります。

③ 設定を終了する

●「SETスイッチ」を押してください。



設定内容が記憶され、チャンネル・モード設定を終了します。

「チャンネルLED」が消灯します。

「チャンネル・モード表示モニター」に回路1に設定したチャンネルが表示されます。

※通常時の表示です。

設定内容確認方法

●回路に設定されている内容を確認することができます。

※この操作で設定内容が変更されることはありません。

<チャンネル設定を確認する場合>

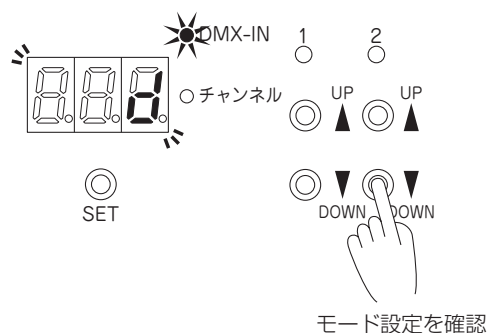
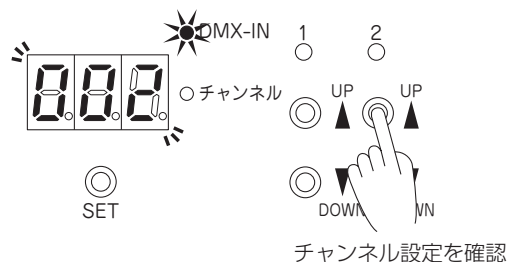
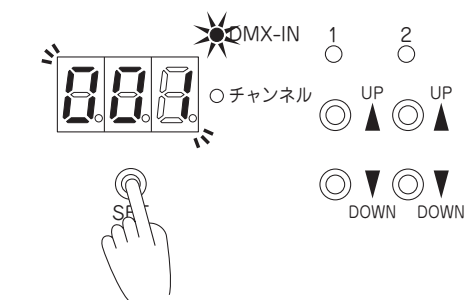
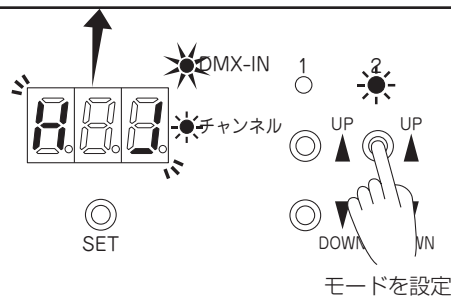
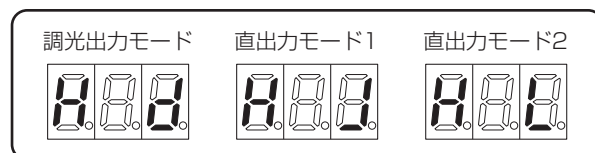
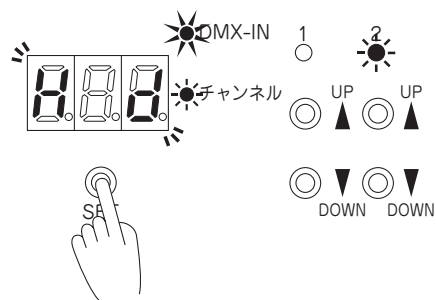
●確認したい回路の「UPスイッチ」を押してください。

「チャンネル・モード表示モニター」に現在のチャンネルが表示されます。
表示から約1秒後、通常時の表示に戻ります。

<モード設定を確認する場合>

●確認したい回路の「DOWNスイッチ」を押してください。

「チャンネル・モード表示モニター」に現在のモードが表示されます。
表示から約1秒後、通常時の表示に戻ります。



●点検とお手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください。

- 明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。
 - ・正常に点灯しますか。
 - ・壁面との取付部、各部品の間合いに異常なガタつき、ゆるみはありませんか。
 - ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
 - ・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
 - ※シンナー、ベンジン等の揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。

●仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

品名	品番	定格電圧	周波数	消費電力	最大負荷容量	タイプ名
パワーボックス (PWM信号制御用)	LZA-91486	交流 100V	50/60 Hz共用	4W	1回路につき LED電源50台まで	1回路用
	LZA-91487				1回路につき LED電源25台まで (合計50台)	2回路用

- 適合コントローラー、適合照明器具専用です。
- LEDは1%~100%まで調光可能です。(調光下限は器具により異なります。)
- 適合LANケーブルはストレート結線、カテゴリ5以上(8芯)をご使用ください。

<適合部品(別売)>

	品名	品番
コントローラー	シーンコントローラー	LZA-91485
	シーンコントローラー(タイマー機能付)	LZA-92772
	手動フェーダー	LZA-92773・LZA-92774・LZA-92775

●保証について

- この商品の保証期間は3年です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
 - ※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社「CSセンター」までお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品を維持するために必要な部品です。

●商品についてのご相談

CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通) へご連絡ください。

受付時間(月~金曜)9:00~17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。